

化学工業日報

2012年(平成24年) 8月20日(月曜日)

ドラム用キャップシール

海外対応製品に本格進出

蘭社製小口金用を投入

物流管理ソフトの開発などを手掛ける大和システム(大阪市福島区、峰尾欽士社長、電話06-6334616150)は、ドラム缶の口金用キャップシールの事業において海外対応製品に本格進出する方針を固めた。世界最大

大和システム

手の口金メーカーの蘭トライシユア(TS)製(JIS規格、ドラムタイプA)の小口金に適合する海外製口金専用の新キャップ「Aシール」の開発を終えており、まず来月からTSの小口金を使用する日本国内の顧客を対象に販売を始める。

2〜3年後にはAシール単独で月5万個の供給を目指しており、早期に生産体制の増強も図る方針。峰尾社長は海外製口金向けのキャップ事業について、「将来的には供給

右が輸入缶・トライシユアタイプ用のAシール(左は国産缶用のPシール)

量を日本製口金向けのキャップに迫る月10万個規模に引き上げたい」としている。

キャップはドラム缶の口金部を封印・保護する部材。TS製の大口金タイプは日本製(JIS規格、ドラムタイプC)とサイズや形状が同じでキャップも兼用できたが、T

Sの小口金タイプには国産品が適合せず専用のキャップが必要だった。大和システムのキャップ(ポリエチレン製)は、

キャップの2支点で口金のフランジカール部を圧着して水道圧100kg/cm²に耐える高気密を実現。さらに装着したキャップをペンチなどで口金から

外して再装着するとキャップの一部が破損して痕跡が残る構造になっているが、新キャップのAシールにもこうした優れた機能が付与されている。

化学品などを扱う物流倉庫ではドラム缶の内容物の盗難や異物の混入を防ぐため管理体制は年々厳しくなっている。こうした状況を背景に口金用

キャップにもより高度な品質を求められており、セキュリティ機能に優れた大和システムのキャップ販売量は現在、月15万個規模に達している。